福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日

令和８年１０月２９日（木）

２　確認箇所

・伐採木一時保管エリアＨ（図１）
・固体廃棄物貯蔵庫第１１棟建設地（図１）

３　確認項目

（１）伐採木一時保管エリアＨの状況
（２）固体廃棄物貯蔵庫第１１棟建設工事の状況

４　確認結果の概要

東京電力では、中長期ロードマップの目標工程である「２０２８年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外での保管を解消」の達成のため、屋外で一時保管されている瓦礫類等の固体廃棄物を屋内保管へ移行し、屋外の瓦礫類一時保管エリアの解消を進めている。

各一時保管エリアにおいては廃棄物の保管のほか、分別や破砕、コンテナへの詰め替えなどの作業が実施されている。

また、瓦礫類等の固体廃棄物の屋内保管先として、固体廃棄物貯蔵庫を建設し、容器に収納した状態で一時保管する計画としている。

（１）伐採木一時保管エリアＨの状況

県では、これまで各一保管エリアの作業状況等を定期的に確認しており、今回は、伐採木一時保管エリアＨの状況を確認した（前回確認：令和８年８月４日）

伐採木一時保管エリアＨは傾斜地を挟んで東側エリアと西側エリアに分かれており、それぞれの確認状況は以下のとおり。

＜東側エリア＞

- 東側エリア内の北側は、他の瓦礫類一時保管エリアから搬入された廃棄物の分別・破砕及びコンテナへの詰め替え作業エリアとして運用されていた。（写真１）
- 中央部は、溶融対象金属を収納した６ｍ^{3}コンテナに加え、現在は分別・破砕済みの雑可燃物を収納した１ｍ^{3}コンテナの搬入・保管場所として使用されており、前回確認時よりコンテナの数量が増加していた。また、金属ガレキが新たに保管されていた。（写真２）
- 南側は、前回確認時と同様、伐採木等の破砕機による破砕やバックホウ等を用いた分別作業が実施されていた。（写真３）

＜西側エリア＞

・　西側エリアでは砕石敷による整地がなされており、今後増設雑固体廃棄物焼却設備で処分予定の破砕済・未破砕の雑可燃物（木くず、紙、プラスチックなど）を収納した１ｍ^{3}コンテナが、整然と並べられ管理されていた。なお、前回確認時と比べコンテナの保管量が増加していた。（写真４）

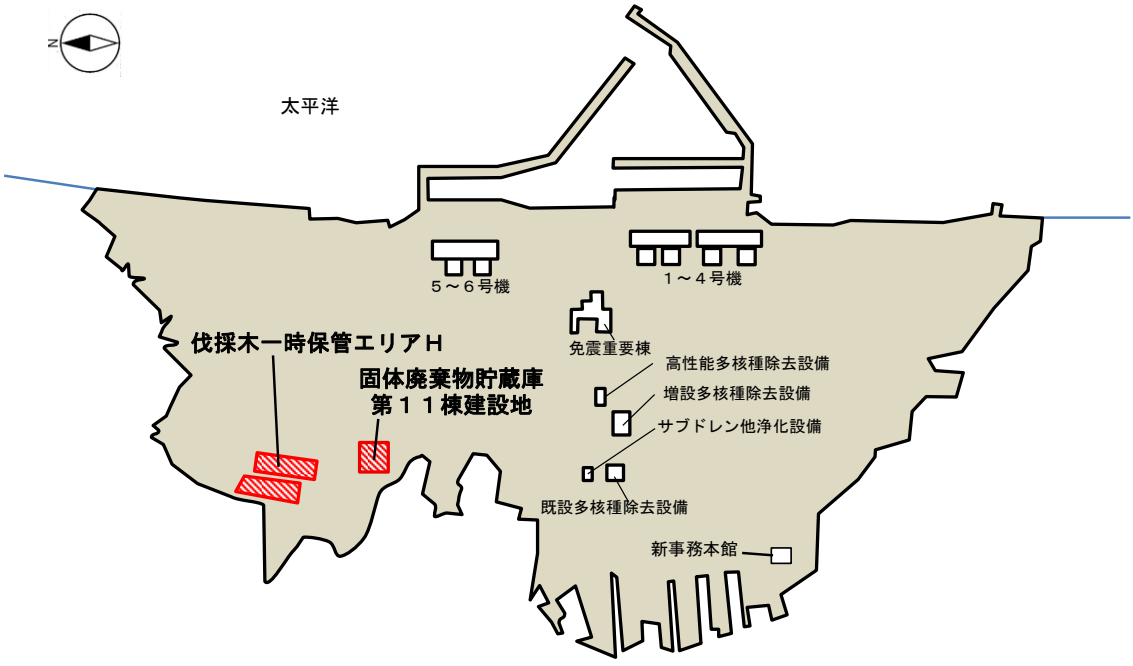
・　西側エリア内の南側が整地されＹゾーンに区画されていた。（写真５）

（２）固体廃棄物貯蔵庫第１１棟建設工事の状況

現在、建設工事を行っている固体廃棄物貯蔵庫第１１棟（以下「第１１棟」という。）の状況を確認した。（前回確認：令和８年８月２５日）

・　第１１棟の地下階部分において、コンクリートの打設作業及び床面の配筋作業が継続して進められていた。現場確認時、コンクリート打設は、地下階の中央部付近で行われており、南側においては配筋作業等が進められていた。（写真６）

・　打設するコンクリートがミキサー車で運搬されており、作業員により誘導されていた。また、作業員の確認のもと、ミキサー車からコンクリートポンプ車へコンクリートの移し替えを実施していた。（写真７）



（図１）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真１－１）伐採木一時保管エリアＨ（東側エリア北側）の状況（今回確認時）



（写真１－２）伐採木一時保管エリアＨ（東側エリア北側）の状況（前回（R8.8.4）確認時）



（写真１－３）伐採木一時保管エリアＨ（東側エリア北側）の破砕等の様子



（写真１－４）伐採木一時保管エリアＨ（東側エリア北側）の破砕等の様子



（写真２－１）伐採木一時保管エリアＨ（東側エリア中央部）の状況（今回確認時）



（写真２－２）伐採木一時保管エリアＨ（東側エリア中央部）の状況（前回（R8.8.4）確認時）



（写真３－１）伐採木一時保管エリアＨ（東側エリア南側）の状況（今回確認時）



（写真３－２）伐採木一時保管エリアＨ（東側エリア南側）の状況（前回（R8.8.4）確認時）



（写真４－１）伐採木一時保管エリアＨ（西側エリア）の状況（今回確認時）



（写真４－２）伐採木一時保管エリアＨ（西側エリア）の状況（前回（R8.8.4）確認時）



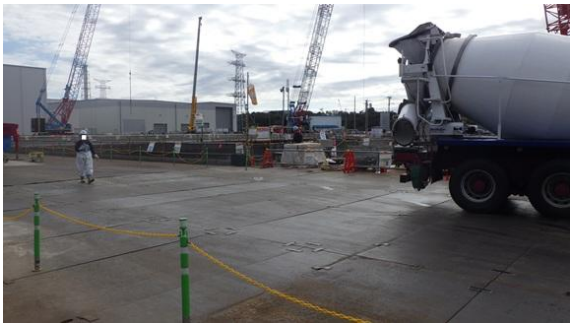
（写真５）伐採木一時保管エリアＨ（西側エリア）の南側の状況



（写真６－１）地下階中央部のコンクリート打設の様子



（写真６－２）地下階南側における配筋作業の様子。



（写真７－１）作業員によるミキサー車誘導の様子



（写真７－２）コンクリート移し替えの様子

５　プラント関連パラメータ確認

各パラメータに異常な値は確認されなかった。